

サービスの資源開発、関係者のネットワークの構築、ニーズとサービスのマッチングなどをコーディネートする人材で、一層、二層、場合によっては三層まであり、一層は町レベルで全般を見渡すもの、二層は生活圏域レベル（中学校区もしくは小学校校区レベルなど）で実際に地域の力を統合していくものとなり、地域協議体とはこの2層の協議体になると思います。

この地域協議体の設置に関しての町の考えですが、住民の皆さんとの地域課題の共有、地域作りに参加するきっかけづくりは町の重要な大切な役割と考えています。

生活支援体制整備委託業務の一つとして、生活支援の担い手となる関係者のネットワーク作りがあります。まず、その動向を踏まえて、第一層の協議体を設置し、各地域における拠点整備については議論していきたくて考えております。

**問** 地域によっては、すでに支え合い、助け合いの活動に携わっておられる方がおられます。そして、実際に活躍しておられることを聞いています。

しかし、今般の総合事業といえますのは、協議体そして生活支援コーディネーターの指示によって活動を提供することということなど制度に基づいて行うことになってきます。

補助行政はいつまで続くかということも考えると、地域で稼ぐというぐらいの勢いで日常生活支援のサービスを作り出していくという必要があると考えるが町執行部の考えを伺う。

**答** (藤本健康福祉課長)

総合事業は専門職以外の地域のボランティアや元気な高齢者が新たな担い手となって地域で支え合うことを目的としております。その担い手については生活支援体制整備委託業務の一つとして、ボランティアの育成があり、社会福祉協議会において昨年からのボランティア養成講座を開催し、その後講座修了者に対して、活動の開始に向けた組織作りのフォローアップを行っています。

当面はボランティア組織に対しての活動費の助成について来年度予算において検討し、その後、各組織の活動の動向等を踏まえて、行政でできる支援の方法を柔軟に検討していきたくて考えています。そして、「稼ぐ」という考え方についてですが、活動がいつまでも継続していける仕組み、システム作りが必要となってきます。

町民から立ち上がった組織・団体やNPOについても、大いに参加していただき、アイデアをお互いに出し合いながら、この事業に取り組んでいきたいと考えています。

## 議長・副議長就任あいさつ



舘林 議長



長谷川 副議長

町民の皆様には、町政並びに町議会に対しまして、平素より温かいご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

9月議会定例会の議会構成によりまして、私達が議長・副議長の要職をお引き受けすることとなりました。誠に光栄に存じますとともに、その責任の重大さに身の引き締まる思いでございます。ともに微力ではございますが、町民の皆様方の温かいご指導とご協力を賜りながら、皆様の信頼に応えるべく、議会活動と議会運営に全力を傾注する覚悟でございますので、どうかよろしくお願ひ申し上げます。わが国の社会経済情勢に目を向けると、「アベノミクス」の

効果により、5年9ヶ月にも及ぶ戦後最長の好景気が続いていると報道されるものの、地方にはその実感がなく、実質賃金の低下、個人消費も伸び悩んでいるのが実情であります。また、今後予定されている消費税増税により、地方経済が打撃を受けることが予想され、地方自治体を取り巻く環境は一層厳しくなるものと思われれます。

本町では平成29年度から平成36年度までの8年間を目標年度とする「第5次八百津町総合計画」を策定し、「人と自然が響き合い未来へ奏でる人道のまちやおつ」を将来像と位置づけ、住環境の整備、産業の振興、教育の充実など快適で安心して暮らせるまちづくりを進めているところであります。

町議会においても、少子高齢化、人口減少が進む中「第5次八百津町総合計画」の目指す将来像の実現に向け、山積する諸問題解決のため最善の努力をしていく所存であります。

町民の皆様方の更なるご指導、ご協力を心からお願ひ申し上げます。就任のあいさつといたします。

三重県桑名市議会の会派3名が行政視察



八百津町の人道教育について掘部教育長が説明(10/12)

町民のみなさん 八百津町議会を傍聴してみませんか!!

12月定例会は**12月7日(木)**開会の予定です

詳細は議会事務局までお問い合わせください ☎ 43-2111(内線2302)

一般質問の様子はCCNet(地デジ12ch)で生中継・録画放送されます